



2024年8月9日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙  
(コード番号: 6094 東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 永井 秀輔  
(TEL. 03-6721-1740)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2024年5月15日に開示した2024年9月期(2023年10月1日~2024年9月30日)の通期連結業績予想数値を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 修正の内容

(2023年10月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	EBITDA	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 51,000	百万円 300	百万円 900	百万円 2,000	百万円 △2,800	円 銭 △156.62
今回の修正予想(B)	51,000	0	600	1,700	△3,100	△174.25
増減額(B-A)	0	△300	△300	△300	△300	△17.63
増減率(%)	0	△100%	△33.3%	△15%	—	—
(参考)前期実績 (2023年9月期)	30,604	1,610	2,338	3,452	7,870	440.22

#### 2. 修正の理由

当社は第3四半期において、当初業績予想で織り込んでいなかった営業投資有価証券評価損や、退職金、取引先清算による貸し倒れ損失等の一過性費用が計約2億円発生しました。第4四半期についても、北米事業の売上高がほぼ当初予想通りの水準まで回復した一方で、来期以降に向けた先行投資を実施した影響で各段階利益では予算未達になる見通しをしております。また、連結子会社であるUUUM株式会社についても販管費削減等を通じて単独黒字に回帰しておりますが、無形資産の償却費等も加味した連結業績ベースでの業績貢献にはまだ時間がかかる見通しとなっています。以上のことから、第3四半期に発生した利益のマイナスを補えるほど第4四半期に業績が改善する可能性は低いと判断し、各段

階利益を下方修正しました。なお、北米事業は円安の影響もあり売上高は計画通りに推移しているため、業績予想の修正において売上高は据え置きとしました。

また、今回は上記の通り連結子会社等における複数の要因を鑑みたくてで連結業績予想を修正しました。単体業績への影響はないため、個別業績予想は修正していません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上